

業 績 目 録（令和5年）

大学院科目名：女性生涯医科学

（A-a）英文著書

*個人著書の場合

（A-b）和文著書

- 1 森 泰輔. 月経困難症と慢性骨盤痛 今日の治療指針 2023 年版
1342, 2023.

（B-a）英文総説

- 2 該当なし

（B-b）和文総説

- 1 森 泰輔. 子宮内膜症取扱い規約一改訂のポイント. 日本女性医学学会雑誌. 30; 3, 2023.
- 2 森 泰輔. 性ステロイドホルモンからその病態・治療を考える. 日本産科婦人科学会雑誌. 75; 9, 2023.
- 3 伊藤文武. プロゲステルゲンによる心血管リスク. FUJI Infertility & Menopause News. 31; 4-6, 2023.
- 4 伊藤文武. ホルモン補充療法による乳癌発症リスクについて. 産婦人科の進歩. 75; 3, 391-395. 2023.
- 5 藤井麻耶、沖村浩之、森 泰輔. 【今、大きく変わりつつある不妊症治療】女性に対する不妊症診察. 京都府立医科大学雑誌. 131; 10: 645-655.
- 6 沖村浩之、藤井麻耶、森 泰輔. 【今、大きく変わりつつある不妊症治療】がん生殖医療センターとしての当科の取り組み. 131; 10: 677-684.
- 7 古株哲也、森 泰輔. 【最新の手術テクノロジー】最新の婦人科手術現状と課題. 京都府立医科大学雑誌. 132; 8: 521-526.
- 8 森 泰輔、北脇 城. 無月経に対するホルムストルム療法、カウフマン療法、LEP の使い分け. 産科と婦人科. 2023

（C-a）英文原著

- 1 Yamauchi S, Kokabu T, Kataoka H, Yoriki K, Takahata A, Mori T. Computed tomography, magnetic resonance imaging, and positron emission tomography/computer tomography findings for the diagnosis of malignant struma ovarii: A case report. J Obstet Gynaecol Res, 2023. (IF=1.6)
- 2 Tahara N, Ito F, Kawamata M, Otani M, Mori T. Dienogest does not augment the gene expression of adhesion molecules, MCP-1, and monocyte adherence in human endothelial cells. Gynecological Endocrinology 40; 1: 2270621. 2023 (IF=2.0)
- 3 Fujii M, Tanaka Y, Okimura H, Maeda E, Hamaguchi M, Fukui M, Kitawaki J, Mori T. Decrease in activated regulatory T cell populations in the endometrium during ovulation in endometriosis. Journal of Reproductive Immunology. 156; 103825. 2023. (IF=2.9)
- 4 Shimura K, Tarumi Y, Fujii M, Ogawa K, Maeda E, Tanaka Y, Okimura H, Kataoka H, Takaoka O, Ito F, Koshiba A, Khan K, Kusuki I, Kitawaki J, Mori T. Low-Nutrient Environment-Induced Changes in Inflammation, Cell Proliferation, and PGC-1 α Expression in Stromal Cells with Ovarian Endometriosis. Reproductive Sciences 30; 1094–1102, 2023. (IF=2.6)
- 5 Iwai M, Yoriki K, Aoyama K, Tarumi Y, Kataoka H, Kokabu T, Numajiri T, Mori T. Successful resection of growing teratoma syndrome in the abdominal wall with reconstruction using tensor fascia lata muscle flap: A case report and literature review. Gynecologic Oncology Reports 46; 101161, 2023. (IF=0)
- 6 Yamauchi S, Kokabu T, Kataoka H, Yoriki K, Takahata A, Mori T. Computed tomography, magnetic resonance imaging, and positron emission tomography/computed tomography findings for the diagnosis of malignant struma ovarii: A case report Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 49; 5: 1456–1461, 2023. (IF=1.6)
- 7 Minami T, Tsuzuki Y, Tanaka Y, Kitawaki J, Mori T. The Tpl2-MEK pathway plays a critical role in spheroid-cultured endometriotic stromal cells. American Journal of Reproductive Immunology 89; 5: e13689, 2023. (IF=2.5)
- 8 Fujii M, Koshiba A, Ito F, Kusuki I, Kitawaki J, Mori T. Postoperative pregnancy outcomes following laparoscopic surgical

- management in women with stage III/IV endometriosis: A single-center follow-up study. *Gynecology and Minimally Invasive Therapy* 12; 3: 153-160, 2023. (IF=0)
- 9 Izumi Y, Kataoka H, Koshiba A, Ito F, Tanaka Y, Takaoka O, Maeda E, Okimura H, Sugahara T, Tarumi Y, Shimura K, Khan K, Kusuki I, Mori T. Hepcidin as a key regulator of iron homeostasis triggers inflammatory features in the normal endometrium, *Free Radical Biology and Medicine*. 209; 191-201, 2023. (IF=7.1)
 - 10 Ogawa K, Khan K, Koshiba A, Fujishita A, Horiguchi G, Teramukai S, Itoh K, Guo SW, Mori T. Is neonatal uterine bleeding responsible for early-onset endometriosis? *Reproductive Biology and Endocrinology*. 21: 56, 2023. (IF=4.2)
 - 11 Ogawa K, Khan K, Kuroboshi H, Koshiba A, Horiguchi G, Teramukai S, Fujishita A, Itoh K, Guo SW, Kitawaki J, Mori T. Corrigendum to “Neonatal uterine bleeding: Risk factors and its association with endometriosis-related symptoms later in life”. *European Journal of Obstetrics and Gynecology and Reproductive Biology*, 295; 65-66. 2023. (IF=2.3)
 - 12 Komatsu H, Matsumoto K, Morita M, Nagasawa T, Nishio H, Suzuki J, Nishio S, Kobara H, Yunokawa M, Ariyoshi K, Hirayama T, Tokunaga H, Ukita M, Yoriki K, Mori-Uchino M, Furusawa A, Togami S, Nakamura H, Ishikawa M, Satoh T. A survey of carboplatin desensitization therapy in Japan: A multicenter retrospective study. *Cancer Medicine* 13; 5: e6968, 2024. (IF=2.9)

(C-b) 和文原著

- 1 青山幸平、垂水洋輔、片岡 恒、古株哲也、寄木香織、森 泰輔. 当院における遺伝学的検査導入後の卵巣癌初回維持療法の現状. *産婦人科の進歩*. 74 巻 4 号, 501-503, 2023
- 2 松原千晴、小芝明美、舟木友美、森 泰輔、楠木 泉. 月経困難症受療患者の受診動機および社会生活への影響についての実態調査. *日本女性医学学会雑誌*. 30; 4: 580-587, 2023
- 3 藁谷深洋子、沖村浩之、田中佑輝子、前田英子、馬淵亜希、森 泰輔、北脇 城. 妊産婦メンタルヘルスケアのための産後うつ病に対するリスク因子の検討. *日本女性医学学会雑誌*. 30; 2: 224-230, 2023.
- 4 長澤 友紀、藁谷深洋子、志村光揮、田中佑輝子、森 泰輔. 当院にお

- ける modified short-term tocolysis の有用性. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 59; 3: 336-342, 2023.
- 5 吉田尚平、志村光揮、長澤友紀、田中佑輝子、藁谷 深洋子、森 泰輔. 当院におけるジノプロストン腔内留置用製剤の有効性の検討. 産婦人科の進歩. 75; 4: 446-450, 2023.
 - 6 森 泰輔. 子宮内膜症 性ステロイドホルモンからその病態・治療を考える. 日本産科婦人科学会雑誌. 75; 9: 847-853, 2023
 - 7 垂水みなと、中前 貴、飯田直子、平松伶彩、森 泰輔、成本 迅. 産婦人科不妊治療施設における里親・特別養子縁組制度に関する情報提供についての実態調査. 日本生殖心理学会雑誌. 9; 2: 6-13, 2023.

(D) 学会発表等

- 1 Egami A, Tarumi Y, Aoyama K, Kataoka H, Kokabu T, Yoriki K, Ito F, Mori T. Occult breast cancer detected by diagnostic laparoscopy. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023. 5. 12. 東京.
- 2 Yoshida S, Shimura K, Nagasawa Y, Tanaka Y, Waratani M, Mori T. A case of management with long-term implantation of an inferior vena cava filter in a pregnant woman with deep vein thrombosis. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023. 5. 12, 東京
- 3 Nagasawa Y, Shimura K, Tanaka Y, Waratani M, Mori T. Three cases of meconium peritonitis presenting with diverse clinical course. 第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023. 5. 12. 東京
- 4 吉田尚平、志村光揮、和泉祐子、片山晃久、垂水洋輔、片岡 恒、伊藤文武、小芝明美、カーンカレク、楠木 泉、森 泰輔. 当院における卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する術前ホルモン治療と術後再発の関連について. 第 44 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会. 2023. 1. 21, 高知
- 5 片山晃久、小芝明美、青山幸平、藤井麻耶、沖村浩之、片岡 恒、前田英子、伊藤文武、楠木 泉、森 泰輔. 子宮内膜症患者の発見契機に関する検討. 第 44 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会. 2023. 1. 21, 高知.
- 6 古株哲也. 当院におけるロボット支援下子宮全摘出術. 第 17 回関西腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍会議. 2023. 2. 4, 大阪
- 7 和泉祐子、小芝明美、藤井麻耶、和泉祐子、楠木 泉、森 泰輔. 子宮筋腫核出術後に生じた嚢胞性子宮腺筋症に対し細径子宮鏡下穿刺を行

- い自然妊娠に至った 1 例. 2023. 2. 18, 富山
- 8 沖村浩之、藤井麻耶、和泉祐子、楠木 泉、森 泰輔. 未成年の女性がん患者に対し経腹超音波を使用して卵胞発育を観察し未受精卵子凍結を実施した 1 例. がん生殖医療会. 2023. 2. 25, 大宮.
 - 9 沼田朋子、志村光揮、長澤友紀、田中佑輝子、藁谷深洋子、森 泰輔. 一絨毛性二羊膜双胎 (MD 双胎) の一児子宮内胎児死亡の母体管理中に隔膜破裂による臍帯相互で両児死亡となった症例. 第 36 回 KFG 研究会. 2023. 2. 25, 京都
 - 10 藤井麻耶. 子宮内膜症の排卵期正所性子宮内膜で activated Treg が減少している. 第 31 回鴨和腫瘍カンファレンス. 2023. 6. 4. 京都.
 - 11 志村光揮. 低栄養環境は子宮内膜症病床を悪化させる. 第 31 回鴨和腫瘍カンファレンス. 2023. 6. 4. 京都.
 - 12 和泉祐子、片岡 恒、片山晃久、藤井麻耶、志村光揮、垂水洋輔、沖村浩之、田中佑輝子、伊藤文武、小芝明美、カーン・カレク、楠木 泉、森 泰輔. Hepcidin は細胞内鉄蓄積を介して子宮内膜細胞の炎症性変化を誘発する. 第 23 回日本抗加齢医学会総会. 2023. 6. 10. 東京.
 - 13 田中成美、垂水洋輔、青山幸平、片岡 恒、古株哲也、寄木香織、森泰輔. 生殖年齢期に発症した卵黄嚢腫瘍を含む混合性胚細胞性腫瘍と類内膜がんの混合がんの 1 例. 第 148 回近畿産科婦人科学会学術集会. 2023. 6. 17. 和歌山.
 - 14 細田尚哉、沖村浩之、藤岡悠介、長澤友紀、志村光揮、田中佑輝子、藁谷深洋子、森 泰輔. Cornelia de Lange 症候群の 1 例. 第 148 回近畿産科婦人科学会学術集会. 2023. 6. 17. 和歌山.
 - 15 西村真衣、伊藤文武、古株哲也、小芝明美、楠木 泉、森 泰輔. 内腸骨静脈流入異型に対し安全にロボット支援下仙骨脛固定術を施行しえた 1 例. 第 148 回近畿産科婦人科学会学術集会. 2023. 6. 17. 和歌山.
 - 16 前田英子、和泉祐子、青山幸平、垂水洋輔、大谷真弘、沖村浩之、片岡恒、古株哲也、寄木香織、村島京子、千代延友裕、森 泰輔. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群の診療連携体制の整備と今後の展望. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会. 2023. 6. 17. 高知.
 - 17 寄木香織、和泉祐子、青山幸平、垂水洋輔、大谷真弘、沖村浩之、片岡恒、古株哲也、前田英子、森 泰輔. BRCA2 病的バリエントを有する卵巣癌肉腫の 1 例. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会. 2023. 6. 17. 高知.
 - 18 古株哲也、岡村綾香、青山幸平、垂水洋輔、片岡 恒、寄木香織、森 泰

- 輔. 当院における子宮頸癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の使用経験. Gynecology Expert Meeting 2023. 2023. 7. 5. 京都.
- 19 加嶋洋子、中井英勝、松村謙臣、吉岡恵美、森 泰輔、金田倫子、甲斐健太郎、勝田隆博、竹中基記、荒川敦志、伊藤公彦、平嶋泰之、寄木香織、藤原聡枝、望月亜矢子. 婦人科悪性腫瘍における MSI-high 腫瘍についての多施設共同研究. 第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 2023. 7. 13. 松江.
- 20 吉田尚平、片岡 恒、青山幸平、垂水洋輔、古株哲也、寄木香織、森泰輔. 子宮体癌術後の骨盤内再々発に対する陽子線治療が奏効した 1 例. 第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 2023. 7. 13. 松江.
- 21 青山幸平、古株哲也、垂水洋輔、片岡 恒、増井浩二、寄木香織、山崎秀哉、森 泰輔. 再発子宮頸癌に対する 3D 画像誘導下マルチカテーテル組織内照射の有効性. 第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 2023. 7. 13. 松江.
- 22 川俣まり、志村光揮、長澤友紀、片山晃久、田中佑輝子、藁谷深洋子、森 泰輔. 重症うつ病合併妊娠に対して電気けいれん療法を実施した 1 例. 日本周産期・新生児医学会. 2023. 7. 9. 名古屋.
- 23 吉田尚平、志村光揮、長澤友紀、片山晃久、田中佑輝子、藁谷深洋子、森 泰輔. 下大静脈フィルターを長期間留置し管理できた深部静脈血栓合併妊娠の 1 例. 日本周産期・新生児医学会. 2023. 7. 9. 名古屋.
- 24 藤井麻耶、志村光揮、田中佑輝子、長澤友紀、藁谷深洋子、森 泰輔. 一過性甲状腺機能亢進症を呈した Mirror 症候群の 1 例. 日本周産期・新生児医学会. 2023. 7. 9. 名古屋.
- 25 小芝明美、長澤友紀、片山晃久、田中佑輝子、森 泰輔. 直腸子宮内膜症に対して低位前方切除術後に妊娠した症例を周産期管理した 1 例. 日本周産期・新生児医学会. 2023. 7. 9. 名古屋.
- 26 田中佑輝子、長澤友紀、藤井麻耶、片山晃久、志村光揮、藁谷深洋子、森 泰輔. 胎児脳室拡大と診断した 24 症例の後方視的検討. 日本周産期・新生児医学会. 2023. 7. 9. 名古屋.
- 27 川俣まり、志村光揮、岡村綾香、青山幸平、片山晃久、田原菜奈美、垂水洋輔、沖村浩之、前田英子、片岡 恒、カーンカレク、楠木 泉、森泰輔. ジェノゲストの投与状況についての後方視的検討. 第 33 回近畿エンドメトリオーシス研究会. 2023. 8. 26. 大阪.
- 28 山晴菜、寄木香織、岡村綾香、青山幸平、垂水洋輔、片岡 恒、古株哲

- 也、戸山保千代、笹倉康熙、高畑暁子、長峯理子、森 泰輔. 子宮内
膜間質肉腫と鑑別を要した angioleiomyoma の 1 例. JSAWI2023.
2023. 9. 1. 淡路島.
- 29 川俣まり、伊藤文武、田原菜奈美、古株哲也、楠木 泉、森 泰輔. 内
腸骨静脈流入異型に対し安全にロボット支援下仙骨腔固定術を施行し
えた 1 例. 第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会.
2023. 9. 16. 滋賀.
- 30 岡村綾香、古株哲也、青山幸平、垂水洋輔、片岡 恒 寄木香織、伊藤
文武、楠木 泉、森 泰輔. 子宮体癌術後の難治性リンパ嚢胞に対し
腹腔鏡下リンパ嚢胞開窓術が奏効した 1 例. 第 63 回日本産科婦人科内
視鏡学会学術講演会. 2023. 9. 16. 滋賀.
- 31 江上有沙、垂水洋輔、岡村綾香、青山幸平、片岡 恒、古株哲也、寄木
香織、伊藤文武、森 泰輔. 審査腹腔鏡を契機に診断した潜在性乳癌
の 1 例. 第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2023. 9. 16.
滋賀.
- 32 沖村浩之、藤井麻耶、川俣まり、和泉祐子、志村光揮、垂水洋輔、片岡
恒、前田英子、伊藤文武、楠木 泉、森 泰輔. 反復着床不全後に生
児を獲得し得た、疼痛症状を有する子宮腺筋症合併不妊の 1 例. 第 149
回近畿産科婦人科学会. 2023. 10. 15. 大阪.
- 33 岡村綾香、古株哲也、青山幸平、垂水洋輔、片岡 恒、寄木香織、森
泰輔. 当院における免疫チェックポイント阻害薬使用の現状. 第
149 回近畿産科婦人科学会. 2023. 10. 15. 大阪.
- 34 西村真衣、田中佑輝子、長澤友紀、志村光揮、藁谷深洋子、森 泰輔.
SLE 合併妊娠における周産期合併症に関連する因子についての検討.
第 149 回近畿産科婦人科学会. 2023. 10. 15. 大阪.
- 35 沖村浩之、藤井麻耶、川俣まり、和泉祐子、志村光揮、垂水洋輔、片岡
恒、前田英子、伊藤文武、楠木 泉、森 泰輔. 反復着床不全後に生
児を獲得し得た疼痛症状を有する子宮腺筋症合併不妊の 1 例. 第 149
回近畿産科婦人科学会. 2023. 10. 15. 大阪.
- 36 Koki S, Shohei Y, Yuki N, Yukiko T, Miyoko W, Taisuke M.
Abnormal placental cord insertion increases in the lateral
placenta of older pregnant women. 33rd World Congress on
Ultrasound in Obstetrics and Gynecology. 2023. 10. 16. Seoul.
- 37 徳山晴菜、志村光揮、片山晃久、田中佑輝子、藁谷深洋子、森 泰輔.
フィブリノゲン製剤を使用した産科危機的出血の検討. 京産婦学会
令和 5 年度学術集会. 2023. 10. 21. 京都.

- 38 細田尚哉、寄木香織、岡村綾香、青山幸平、垂水洋輔、片岡 恒、古株哲也、森 泰輔. 周術期管理に難渋した筋強直性ジストロフィー合併卵巣粘液性癌の 1 例. 京産婦学会 令和 5 年度学術集会. 2023.10.21. 京都.
- 39 志村光揮、田中成美、長澤友紀、沖村浩之、田中佑輝子、藁谷深洋子、楠木 泉、森 泰輔. 両児とも臍帯卵膜付着を認めた一絨毛膜二羊膜双胎の 1 例. 第 31 回日本胎盤学会学術集会. 2023.11.4. 福岡.
- 40 Kokabu T, Masui K, Aoyama K, Tarumi Y, Kataoka H, Yoriki K, Mori T. Efficacy of interstitial brachytherapy for the patient with locally advanced cervical cancer. International Gynecologic Cancer Society 2023. 2023.11.5. Seoul.
- 41 中前 貴、垂水みなど、森 泰輔. 男性不妊治療施設における特別養子縁組制度・里親制度の情報提供に関するアンケート調査. 第 68 回日本生殖医学会学術講演会. 2023.11.9. 金沢.
- 42 沖村浩之、川俣まり、和泉祐子、田原菜奈美、藤井麻耶、伊藤文武、楠木 泉、森 泰輔. 流産手術中の大量性器出血に対しバルーン圧迫で止血した 2 例. 第 68 回日本生殖医学会学術講演会. 2023.11.9. 金沢.
- 43 青山幸平、古株 哲也、岡村 綾香、垂水 洋輔、片岡 恒、寄木 香織、伊藤 文武、楠木 泉、森 泰輔. 腹腔鏡下リンパ嚢胞開窓術が奏効した難治性リンパ嚢胞の 1 例. 第 15 回京都婦人科鏡視下手術研究会. 2023.11.25. 京都.
- 44 志村光揮、片山晃久、田中佑輝子、藁谷深洋子、森 泰輔. 当院における modified short-term tocolysis の有用性についての検討. 第 16 回日本早産学会学術集会. 2023.12.9. 富山.
- 45 松原千晴、楠木 泉、森 泰輔、伊藤文武、小芝明美. 就労女性に対する月経随伴症状のセルフマネジメント教育プログラムの前後での評価. 第 38 回日本女性医学学会学術集会. 2023.12.2. 徳島.
- 46 田原菜奈美、伊藤文武、川俣まり、前田英子、森 泰輔. ジェノゲストによるヒト血管内皮細胞における接着分子とサイトカインの発現および単球接着への影響. 第 38 回日本女性医学学会学術集会. 2023.12.2. 徳島.

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

- 1 森 泰輔. がんサバイバーに対する妊孕性温存への取り組みと課題.

- がんプロフェッショナル養成プラン令和 4 年度府民公開講座.
2023. 2. 4, 京都
- 2 沖村浩之. 妊孕性温存療法の種類と特徴. がんプロフェッショナル養成プラン令和 4 年度府民公開講座. 2023. 2. 4, 京都
 - 3 藤井麻耶. 当院におけるがん・生殖医療の実際. がんプロフェッショナル養成プラン令和 4 年度府民公開講座. 2023. 2. 24, 京都
 - 4 森 泰輔. 深部子宮内膜症の治療戦略. 宮崎産婦人科医会特別講演. 2023. 2. 23, 宮崎
 - 5 片岡 恒. 卵巣癌治療に求めるもの～PARPi 登場から現在までを振り返って～. 第 36 回 KFG 研究会. 京都. 2023. 2. 23.
 - 6 森 泰輔. 子宮内膜症の謎に迫る. 福島県産科婦人科学会 春季学術集会. 2023. 福島.
 - 7 森 泰輔. 性ステロイドホルモンから子宮内膜症の謎に迫る. 第 75 回日本産科婦人科学会 学術講演会. 2023. 5. 12 東京.
 - 8 森 泰輔. 月閉経期を迎えた子宮内膜症患者に女性医学ができること～HRT の可能性～ 第 75 回日本産科婦人科学会 学術講演会. 2023. 東京.
 - 9 森 泰輔. 子宮内膜症に対して行う治療の実際. 第 10 回三河地区産婦人科フォーラム. 2023. 豊橋.
 - 10 森 泰輔. 女性が抱える健康課題とホルモンの関係. 第 10 回日本 CNS 看護学会共催セミナー. 2023. 京都.
 - 11 森 泰輔. 子宮内膜症の謎に迫る～Bench to Bedside～. 第 10 回北陸周産期生殖医学研究会. 2023. 金沢.
 - 12 森 泰輔. 卵巣がん初回治療の実際. 第 153 回東北連合産科婦人科学会学術講演会. 2023. 秋田
 - 13 森 泰輔. 性ステロイドホルモンから子宮内膜症の謎に迫る. 第 148 回近畿産科婦人科学会. 2023. 和歌山
 - 14 森 泰輔. 「エストロゲン依存性とは何ぞや～これまでとこれから～」. 京都府立医科大学学友会兵庫県支部. 2023. 7. 9 神戸.
 - 15 森 泰輔. エストロゲン依存性とはなんぞや? ～産婦人科領域研究から～. Specialist Symposium for Breast Cancer Clinical Research. 2023. 名古屋
 - 16 森 泰輔. 子宮内膜症治療の実際～女性医学ができること～ 第 9 回南大阪地区産婦人科学研究会. 2023. 大阪
 - 17 森 泰輔. 子宮内膜症に対して行う治療の実際. 第 20 回東葛産婦人科懇話会. 2023. 葛飾.

- 18 寄木香織. HPV ワクチンの普及にむけて. 第 25 回京都府医師会生涯教育セミナー. 2023. 京都.
- 19 森 泰輔. 卵巣がん初回治療の実際. 第 20 回日本婦人科がん会議. 2023. 仙台.
- 20 森 泰輔. 子宮内膜症に対して行う治療の実際. 第 301 回広島市臨床産婦人科医会研修会. 2023. 広島
- 21 森 泰輔. ホルモンとの関わり～エストロゲンの不思議～. 令和 5 年度貴和会特別講演. 2023. 和歌山.
- 22 森 泰輔. ながいおつきあい～患者さんとともに歩む子宮内膜症治療～ 女性疾患における QOL 向上セミナー. 2023. 名古屋.
- 23 森 泰輔. 卵巣がん初回治療と再発治療の実際. Ovarian Cancer Expert Conference. 2023. 東京
- 24 森 泰輔. 卵巣がん治療の実際～当院での現状を踏まえて～. 第 37 回 KFG 研究会. 2023. 京都
- 25 森 泰輔. 子宮内膜症とステロイドホルモンとの関連に関する知見. Bayer Medical Dialogue 子宮内膜症アドバンス 2023. 東京
- 26 森 泰輔. 子宮頸がんは予防できる～診断と治療も含めて～. 京都府健康福祉行政かかりつけ医（がん対応力）向上研修. 2023. 京都
- 27 伊藤文武. 更年期障害～ココロとカラダの健康のためにできること～女性の健康習慣府民公開講座. 2023. 3. 5, 京都
- 28 カーンカレク. Pathogenesis of human adenomyosis: current understanding and its association with infertility. 第 44 回日本エンドメトリオーシス学会. 2023. 1. 21, 高知

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 青山幸平、小芝明美、垂水洋輔、片山晃久、伊藤文武、楠木 泉、森泰輔. AAGL 分類を用いた子宮内膜症手術における難易度評価についての検討. 第 44 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会. 2023. 1. 22, 高知.
- 2 小川佳奈絵、カーンカレク、片山晃久、伊藤文武、楠木 泉、森 泰輔. 思春期子宮内膜症～新生児月経仮説との関連～. 第 44 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会. 2023. 1. 22, 高知.

III) 国際学会における一般発表

該当なし

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 1,739 万円

公的助成

代表（総額）・小計 1,729 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和 5～7 年度
田中佑輝子
月経周期における性ホルモン変動が子宮内膜症患者の免疫・炎症にもたらす影響 助成金額 156 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和 3～5 年度
伊藤文武
動脈硬化リスクを軽減しうる安全なホルモン補充療法の分子基盤確立 助成金額 91 万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和 3～5 年度
森 泰輔
エストロゲン伝達経路を標的とした子宮体癌新規診断・治療・予防アプローチの提唱 助成金額 130 万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和 5～7 年度
カーンカレク Molecular detection of intrauterine microbial colonization in women with adenomyosis and occurrence of chronic endometritis 助成金額 169 万円
- 5 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 5～6 年度
寄木香織
子宮体癌におけるゲノム情報に基づいた新規内分泌治療法の開発 助成金額 221 万円
- 6 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 3～5 年度
古株哲也
子宮体癌におけるエストロゲン関連受容体による治療抵抗性機構解明と新規治療法提唱 助成金額 156 万円
- 7 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 3～5 年度

片岡 恒

ヘプシジンと PGC-1 α のクロストークに基づく子宮内膜症治療の分子基盤の確立 助成金額 143 万円

- 8 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 5～7 年度

前田英子

子宮内膜症患者の体脂肪・骨格筋分布と酸化ストレスおよびインスリン抵抗性との関連 助成金額 130 万円

- 9 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 5～7 年度

垂水洋輔

ゲノム情報とプロゲステロン応答能を指標とした子宮内膜症個別化治療の開発 助成金額 234 万円

- 10 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 5～7 年度

小芝明美

パーソナルヘルスケアレコードを用いた子宮内膜症患者の管理と新たな疫学研究の試み 助成金額 156 万円

- 11 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 4～6 年度

高岡 幸

ER β をターゲットとした新たな子宮内膜症治療薬の分子基盤の確立 助成金額 143 万円

公的助成

分担（総額）・小計 10 万円

1. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 令和 2～6 年度

高畑暁子

子宮内膜症が子宮筋層にもたらす影響：MRI による灌流、拡散、蠕動、硬度の検討 助成金額 10 万円